



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月21日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 瀬川 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 戸谷 浩二 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	144,878	6.3	8,800	5.3	8,719	5.5	6,022	9.6
28年3月期第2四半期	136,326	6.1	8,355	1.6	8,263	1.4	5,493	6.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 6,051百万円 (10.7%) 28年3月期第2四半期 5,465百万円 (6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	192.93	—
28年3月期第2四半期	175.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	887,434	150,755	16.9	4,809.05
28年3月期	878,526	145,562	16.5	4,644.38

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 150,122百万円 28年3月期 144,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
29年3月期	—	30.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	3.3	17,300	2.1	17,100	1.5	11,500	4.1	368.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	31,243,223株	28年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	26,565株	28年3月期	26,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	31,216,669株	28年3月期2Q	31,216,847株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第2四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	136,326	144,878	8,552	6.3
営業利益(百万円)	8,355	8,800	444	5.3
経常利益(百万円)	8,263	8,719	455	5.5
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,493	6,022	528	9.6
1株当たり四半期純利益	175円99銭	192円93銭	16円94銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	168,711	165,217	△3,493	△2.1
金融サービス事業(百万円)	13,914	17,284	3,369	24.2
取扱高合計(百万円)	182,625	182,501	△123	△0.1

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや経済対策を下支えに、力強さは欠きながらも緩やかな回復基調を維持しています。ただし、円高や海外経済の減速、インバウンド消費の落ち込みなどを背景に、企業収益下振れへの警戒感は根強く、不透明な状況が続いております。

リース業界においては、平成28年4月～8月累計のリース取扱高は、前年同期比1.1%増加の1兆9,010億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような経済環境の中、当社グループにおいては、引き続きベンダー営業を軸として収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長領域の構築を図りました。総取扱高は前年同期並みの1,825億円となりましたが、営業資産残高は前期末に比べ114億円増加し、7,639億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.3%増加の1,448億円と、7期連続の増収となりました。リース・割賦事業の売上高が順調に伸長し、営業利益は前年同期比5.3%増加の88億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比9.6%増加し60億円と第2四半期において過去最高となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	132,052	140,204	8,152	7,101	7,488	387	629,456	637,820	8,364
金融サービス	3,280	3,506	225	1,607	1,662	55	110,606	116,742	6,136
報告セグメント計	135,332	143,710	8,377	8,708	9,150	442	740,062	754,563	14,500
その他	993	1,168	174	115	118	3	12,521	9,436	△3,084
合計	136,326	144,878	8,552	8,824	9,269	445	752,583	763,999	11,416

【リース・割賦】

リース・割賦事業は、金融情勢の変化による業界内での競争激化などが影響し、取扱高は1,652億円と前年同期比2.1%減少しました。一方で、営業資産残高は前期末に比べ83億円増加し、6,378億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比6.2%増加し1,402億円となり、セグメント利益は前年同期比5.4%増加し74億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、住宅関連や法人向け融資が伸長し、取扱高が前年同期比24.2%増加の172億円となりました。営業資産残高は、前期末に比べ61億円増加し1,167億円となりました。また受取手数料についても、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。売上高は前年同期比6.9%増加し35億円となり、セグメント利益は前年同期比3.4%増加し16億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等が含まれています。売上高は前年同期比17.6%増加の11億円、セグメント利益は前年同期比2.6%増加の1億円となりました。

また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ30億円減少し94億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成28年9月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	878,526	887,434	8,908	1.0
*営業資産(百万円)	752,583	763,999	11,416	1.5
営業資産以外(百万円)	125,942	123,434	△2,507	△2.0
純資産(百万円)	145,562	150,755	5,192	3.6
自己資本比率(%)	16.5	16.9	0.4ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他の事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、営業資産が114億円増加したことと、現金及び現金同等物が30億円減少したことなどで、前期末に比べ89億円増加し8,874億円となりました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による60億円の増加と、剰余金の配当8億円による減少等で、前期末に比べ51億円増加し、1,507億円となりました。自己資本比率は前期末の16.5%から0.4ポイント上昇し16.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	19,419	△4,933	△24,352
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△347	△942	△594
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△1,494	2,807	4,301
現金及び現金同等物四半期末残高(百万円)	18,194	494	△17,699

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が87億円となった一方で、割賦債権の増加による支出が36億円、リース債権及びリース投資資産の増加による支出が47億円、賃貸資産の取得による支出が38億円となったことなどで当期は49億円の支出となりました。また、前年同期は集金代行の預り金の支払いが祝日の関係で翌月にずれ込んだことなどから194億円の収入となったため、243億円の支出の増加となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、社用資産の取得による支出が6億円、有価証券・投資有価証券の取得による支出が2億円となったことなどで9億円の支出となりました。その結果、前年同期に比べ5億円の支出の増加となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、収入についてはコマーシャル・ペーパーの発行額の増加で10億円、社債発行で199億円となった一方で、支出については借入金の減少で72億円、社債の償還で100億円、配当金の支払額で8億円となったことなどで当期は28億円の収入となりました。その結果、前年同期に比べ43億円の収入の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成28年4月28日に公表した平成29年3月期連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,563	494
受取手形及び売掛金	11	17
割賦債権	91,379	95,757
未収賃貸債権	38,022	38,031
リース債権及びリース投資資産	526,990	531,702
営業貸付金	123,127	126,179
その他の営業貸付債権	45,474	45,183
その他の営業資産	5,043	5,046
賃貸料等未収入金	6,322	6,486
その他の流動資産	20,584	20,107
貸倒引当金	△8,228	△8,058
流動資産合計	852,290	860,949
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	18,696	18,576
社用資産	408	475
有形固定資産合計	19,105	19,052
無形固定資産		
賃貸資産	63	174
その他の無形固定資産	1,596	1,572
無形固定資産合計	1,659	1,746
投資その他の資産		
投資有価証券	3,100	3,254
破産更生債権等	1,330	1,303
その他	1,615	1,676
貸倒引当金	△575	△547
投資その他の資産合計	5,470	5,686
固定資産合計	26,235	26,485
資産合計	878,526	887,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,958	18,740
短期借入金	123,218	113,928
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	96,888	81,425
コマーシャル・ペーパー	10,000	11,000
未払法人税等	2,616	2,933
割賦未実現利益	7,673	8,390
賞与引当金	741	738
役員賞与引当金	29	—
その他の流動負債	43,851	44,853
流動負債合計	326,976	302,010
固定負債		
社債	80,000	90,000
長期借入金	320,939	338,436
退職給付に係る負債	1,059	1,071
その他の固定負債	3,987	5,161
固定負債合計	405,987	434,669
負債合計	732,964	736,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	126,800	131,965
自己株式	△47	△47
株主資本合計	144,810	149,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589	552
退職給付に係る調整累計額	△418	△403
その他の包括利益累計額合計	171	148
非支配株主持分	580	632
純資産合計	145,562	150,755
負債純資産合計	878,526	887,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	136,326	144,878
売上原価	121,250	129,201
売上総利益	15,075	15,677
販売費及び一般管理費	6,719	6,876
営業利益	8,355	8,800
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	15
その他の営業外収益	9	7
営業外収益合計	23	23
営業外費用		
支払利息	6	5
社債発行費	83	78
投資事業組合運用損	16	19
その他の営業外費用	9	1
営業外費用合計	115	103
経常利益	8,263	8,719
税金等調整前四半期純利益	8,263	8,719
法人税、住民税及び事業税	2,158	2,696
法人税等調整額	574	△51
法人税等合計	2,733	2,644
四半期純利益	5,530	6,074
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,493	6,022

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	5,530	6,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△37
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	△65	△23
四半期包括利益	5,465	6,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,429	5,998
非支配株主に係る四半期包括利益	36	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,263	8,719
貸貸資産減価償却費	3,533	3,844
社用資産減価償却費及び除却損	371	358
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△355	△198
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12	31
受取利息及び受取配当金	△18	△15
資金原価及び支払利息	743	611
社債発行費	83	78
投資事業組合運用損益(△は益)	16	19
割賦債権の増減額(△は増加)	△5,622	△3,660
未収貸貸債権の増減額(△は増加)	△192	△9
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△12,356	△4,712
営業貸付金の増減額(△は増加)	△7,922	△3,051
その他の営業貸付債権の増減額(△は増加)	△205	423
貸貸料等未収入金の増減額(△は増加)	153	△164
貸貸資産の取得による支出	△5,529	△3,891
破産更生債権等の増減額(△は増加)	111	27
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,187	△3,218
その他	45,839	2,837
小計	22,717	△2,003
利息及び配当金の受取額	11	△2
利息の支払額	△776	△655
法人税等の支払額	△2,533	△2,271
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,419	△4,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△176	△640
投資有価証券の取得による支出	△180	△232
その他	9	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347	△942
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△23,525	△9,290
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	15,000	1,000
長期借入れによる収入	26,000	54,540
長期借入金の返済による支出	△18,026	△52,505
社債の発行による収入	19,916	19,921
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
配当金の支払額	△858	△858
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,494	2,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,577	△3,068
現金及び現金同等物の期首残高	617	3,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,194	494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,052	3,280	135,332	993	136,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	132,052	3,280	135,332	993	136,326
セグメント利益	7,101	1,607	8,708	115	8,824

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,708
「その他」の区分の利益	115
全社費用(注)	△468
四半期連結損益計算書の営業利益	8,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,204	3,506	143,710	1,168	144,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	140,204	3,506	143,710	1,168	144,878
セグメント利益	7,488	1,662	9,150	118	9,269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,150
「その他」の区分の利益	118
全社費用(注)	△469
四半期連結損益計算書の営業利益	8,800

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。